

# 仙台都市圏における総合的な交通改善等による公共交通 利用転換・中心市街地活性化のための実証実験の概要 (平成16年7月～平成17年8月)

## 背景

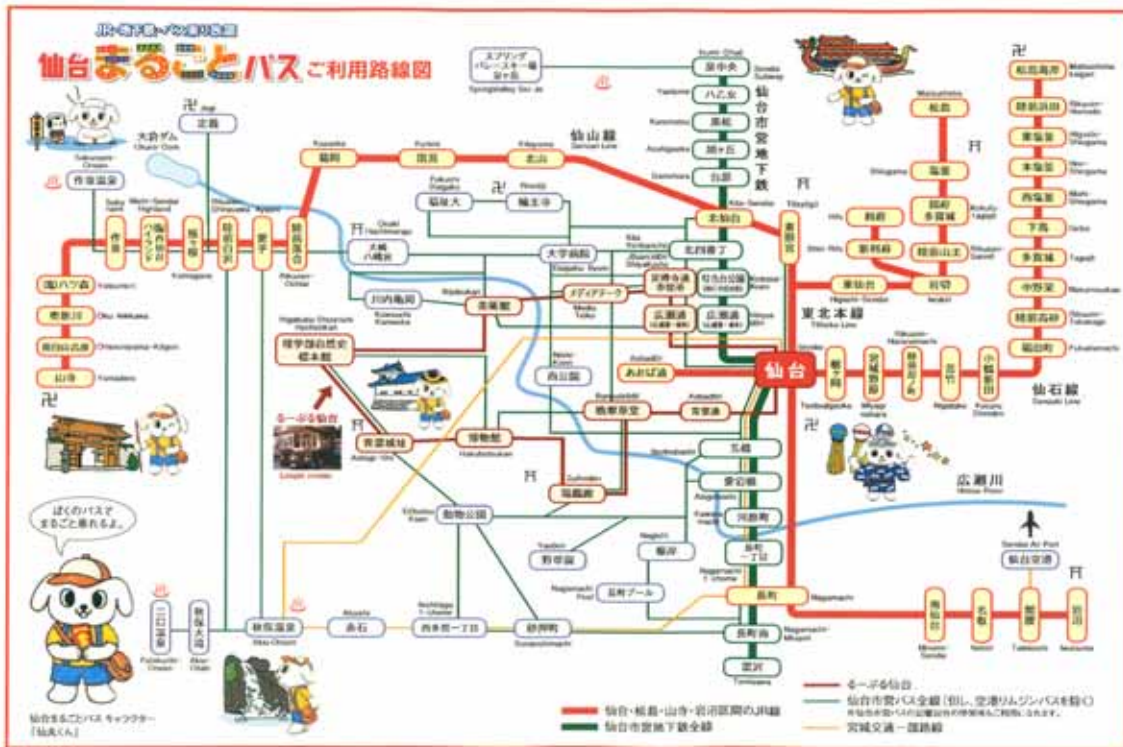
100万都市仙台を中心とする仙台都市圏の公共交通は、バス路線が複雑で分かりにくいこと、鉄道駅とバス停の乗り継ぎが分かりにくいなどの問題がある。こうした要因もあり、近年マイカー依存が進んできており、交通渋滞等の都市問題に対する対応が求められている。

また、「杜の都」仙台を中心に日本三景松島や山形県山寺を含む仙台都市圏は、仙台を舞台とするNHK連続テレビ小説「天花」の放映やディスティネーションキャンペーンの実施により、一層の交流人口の拡大が見込まれており、観光客の交通をマイカーから公共交通に転換させることが急務となっている。

**「初めて訪れた人にも分かりやすく使いやすい公共交通」「公共交通を使いたくなる環境づくり」**を進め、仙台都市圏の交通手段を公共交通へ転換させるとともに、中心市街地活性化を図ることが必要。

## 実験の概要

- 廉価な鉄道・地下鉄・バス共通フリー乗車券（仙台まるごとパス）の導入
- 対象地域：「杜の都」仙台、日本三景松島、山形県山寺を含む広域エリア
- バス系統番号のバス車両及びガイドマップへの明示
- 主要駅・バス停の乗換方法に関する情報（案内図等）の充実



## 実験の途中経過

平成16年度(7月17日～3月31日)の仙台まるごとパスの販売実績は、大人8,634枚、小児220枚であった。

系統番号のバス車両及びガイドマップへの明示については、乗換不安の解消に一定の成果を上げたことから17年度も継続して実施する。主要駅・バス停の乗換方法に関する情報の提供についてもおおむね好評であった。